



# しし座流星群



## 宇根山天文台だより ★

秋も深まり、星空を眺める良い季節となりました。毎年、11月中旬ごろになると、ししの大鎌といわれるしし座の前足付近から、明るい流星が放射状にたくさん飛び出してきます。その流星が飛び出す中心を放射点と呼び、放射点がしし座の近くにあることから、これをしし座流星群と呼んでいます。

しし座流星群が発生する原因は、周期33年のテンペル・タトル彗星にあります。彗星は、汚れた雪だるまのような物質で出来ており、太陽に近づく、表面が溶けて直径1mmの数cm程度のちりを四方八方に大量にまき散らしながら飛び去ります。

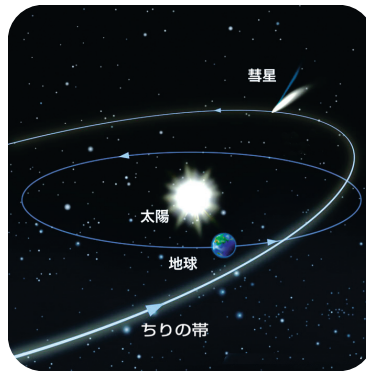
流星は、この彗星軌道にあるちりの帯に、地球の軌道が交差する時、地球の引力に引かれたちりが大気圏に飛び込み、摩擦熱のため燃え尽きていく現象です。彗星から噴出されるちりは、宇宙空間で広範囲に広がっていくので、彗星が通過する前後の直近であるほどちりが濃いため、よりたくさん流星が出現します。

今年、テンペル・タトル彗星が11年前(1998年)に通った軌道を地球が通過します。時間の経過により2001年の時のような大出現は望めませんが、今年も月明かりの影響が全くないため、暗い流星も観

### しし座流星群観望会

～流星は、東の空に、深夜0時すぎから明け方にかけてピークを迎えます～

とき 17日(火)19時～22時  
※時間延長する場合があります。  
※閉館後、敷地内での観測は自由です。  
参加費 大人310円、中・高校生210円、小学生100円、小学生未満 無料  
問い合わせ先 青少年女性課(☎0848④9234)、宇根山天文台(☎0847③7145)



▲地球と彗星の軌道が交差するときに流星が出現します

察できるので多くの流星が期待できます。レジャーシートなどを敷いて、広場で寝転がって観望するのも面白いかもしれませんね。

宇根山天文台では、しし座流星群観望会を開催します。当日は、夜半過ぎから流星が増えてきます。秋の夜長、宇根山天文台で宇宙の神秘を体感してください。

▼宇宙がむすぶ家族のきずなをテーマにした講演会に続き、望遠鏡を作成し、その望遠鏡を使って、天体観測をしました(9/27 特別天文講座「宇宙教室」 宇根山天文台ほか)



▲小学生約190人が、名誉市民の村田兆治さんをはじめ、元プロ野球選手から指導を受けました(9/19 JA全農WCBF少年野球教室 三原市民球場)